

■R03.03.10 臨時記者会見内容

日時 令和3年3月10日（水）午前9時～午前9時30分

場所 第1委員会室

出席 市長、総務部長、企画部長、地域創生部長、健康福祉部長、
財政課長、企画調整課長、商工港湾課長、健康課長、国保年金課長
酒田記者クラブ7社（山形新聞、荘内日報、河北新報、毎日新聞、YBC、TUY、SAY）
その他1社（コミュニティ新聞）記者クラブの承認による

■市長発表事項

①追加補正予算（経済対策等）について

市長／この前、定例記者会見で最後かと思ったが、今日臨時ということで場を設定させていただいた。

令和2年度の補正予算第17号と令和3年度の補正予算第1号、この2つの補正予算を3月19日に上程させていただく。その補正予算の概要をご説明したいということと、明日人事案件一件を上程する。これについても今日皆さんにお知らせをしてお取材をしていただければということで場を設けさせていただいた。

まず、3月補正予算の関係。後ほどA3判の横長の資料でご説明申し上げるが、今お話をさせていただくのは、令和3年度の1号補正の中身ということで概要をご説明させていただく。まず1つは今回コロナ関連で補正予算を大きく組んでいる。1つは経済対策第7弾ということで、資料を見ていただければと思うが、その柱は大きく2つある。1つはキャッシュレス決済導入促進事業5億250万円。これは昨年も10月から3か月間paypayのキャンペーンをやった。3月・4月と鶴岡市でもやっているということ、それから6月に庄内地区の自治体がやるということで、酒田市でも去年のキャンペーンでキャッシュレス決済に加入している小売店、飲食店等がかなり増えたということ、経済波及効果も非常にあったということ、もっとやらないのかという声もあったので、国の交付金を財源として、2度目のキャッシュレス決済導入促進事業として実施をしたいというもの。時期については、5月以降の1か月間を予定しており、ポイント還元率は基本的に前回と同じ。3割のキャンペーンを実施したい。一度酒田は3か月間やっているの、市民の皆さんは抵抗感なく再度のこのキャンペーンについても参加をしていただけないかなという思いでいる。対象店舗については、大手チェーンは除くということで、全くこれは前回と同じなので、基本的に前回やったものと同じ内容のものを1か月間再度やるということを少しアピールお願いしたいと思う。

もう1つは、新型コロナウイルス感染症関連経済対策事業ということで1,500万円計上している。これは地元の一般酒類小売業応援補助金という補助金名称を付けているが、一般酒類小売業の支援。去年のpaypayの時もあったが、実際の小売が中心のところについては、小売りというか店舗販売みたいな所は結構それでもカバーできたが、飲食店に卸している酒屋さん、そういった方々が非常にpaypayのキャンペーンでもあまり支

援効果が出ていないということで、業界の皆さんからも要望があり、それで組んだのがこの経済対策事業。対象者は、これも大手は除くが、酒類の販売数量が令和元年度と比較して15パーセント以上減少した一般酒類小売業を対象として、酒類の販売数量の減少量に応じて、5万円、10万円、20万円、30万円、40万円の5段階で補助金を交付するという内容。酒類販売数量の把握については、税務署に「酒類の販売数量等報告書」というものを毎年度末に出すが、それを見れば、どれくらい減ったかというのが分かるので、その資料の写しを添付していただき、そして口座に振り込むということで、補助金の交付を考えていくもの。これについては、業界の皆さんの強い要望があった。小売中心の人についてはキャッシュレス決済キャンペーン等でまた還元されるだろうという思いもあるので、地元のこの2つの経済対策によって、地元の飲食業、小売業、サービス業にも使える。タクシーとか病院とかにも使えるので、キャッシュレス決済については、ぜひ経済的に支援していきたいとそんな思いで経済対策を打たせていただいた。

次のページ、経済対策以外ということで、これは今準備を粛々と進めているが、新型コロナウイルスのワクチン接種に係る対策事業の予算で、1億7,000万円弱予算を計上している。これには、集団接種に係る経費と個別接種に係る経費について一定程度現段階で想定できるものについて予算を追加しているものだが、資料の下の方にはすでに報道等にも出ているが、酒田市における接種対象者数とか、あるいは4月中に県に配分されるワクチンの見通し等について、そこに整理をさせていただいている。4月中に県に配分されるワクチンの見通しについてはこれが酒田市にどの段階でどれだけ入ってくるかまだ決まっていないが、それが判明した段階で粛々と接種を開始していきたいと思っているが、やはりどうしても数が少ないというのが見て取れるので、4月26日以降の週にこの計画通り順当に入ってくれば本格的な接種となろうかと思う。それまでは限定的な接種になるのかなという見通しを持っているところ。下の方の表については参考までにご覧をいただきたいと思う。

それから、次の3ページをご覧いただきたいと思うが、一般会計予算の補正の他にもう1つ国民健康保険特別会計予算の補正も入っている。これは、本来当初予算に間に合わなかったので1号補正という形で新年度から国民健康保険税率の引き下げを行うために、今回補正予算を議会に上げさせていただくというもの。市町村が県の方に納める国保事業費納付金というものがあるが、これが今年度から約2億3,000万円減額して提示された。県に納めるお金が少なくなったということがあるし、また基金の状況なども踏まえて、令和3年度の税率を引き下げるというもの。実は令和2年度もここにもあるが、9.78パーセント引き下げを行っており、令和3年度にまた引き下げとなると、2年連続の引き下げということになる。国全体の話だが、先の報道でも今回のコロナ禍によって国民負担率がかなり増えるという話が言われていたが、こういう状況なので、極力税金等で下げられるものについては下げたいということもあり、令和3年度の国保税について財政の健全性をしっかり見据えたうえで、加入者平均で一人当たり6,421円6.7パーセントの引き下げを行うというもの。今回の引き下げを行うと令和3年度の本市の

国保税率、医療給付費分となっているが、県内 13 市では最も低い率となる見込みである。国民健康保険は複雑で、医療給付費分とか後期高齢者支援金分とか介護納付金分とかあるので、その中の医療給付費分の引き下げを行うという内容。現行税率から改正税率ということで平均パターンが書いているが、モデルケースという所を見てもらいたい。こういった収入、家族形態の人の場合、年間で 55,500 円ほど安くなるという中身となっている。これが国保税率の引き下げについて、19 日に補正予算として追加提案をさせていただく。それから参考資料ということでこれまでコロナ関連でやっている経済対策等について少し整理をした資料があるので、参考までにお読みいただければと思う。以上が追加補正予算の概要。

今、補正予算の関係で話した A3 判の横長のこの資料をご覧いただきたい。

令和 2 年度の第 17 号の補正予算の中身はこのような概要。1,800 万円ほど補正を行う。中身については記載の通りだが、特にパイプハウス等復旧支援事業ということで 1 月の大雪、暴風雪で被害を受けたパイプハウスに対する支援。国県の補助金を活用して年末年始の大雪、暴風雪で被害を受けた農業用施設への復旧支援を行うのがメインとなっている。

それから令和 3 年度の一般会計補正予算第 1 号の中身。今、経済対策とコロナ対策をご説明申し上げたが、4 の歳出補正の中のキャッシュレス決済が 5 億ほどある。その下に保育料段階的無償化事業というのがあるが、これは吉村県知事の公約であり、段階的な無償化をするということで県の方で予算があがった関係で、当初予算に組んであったが、これに市町村と連携をしてやるということなので、その実施に向けたシステムの改修経費、これを上げさせていただく。

保育料の無償化につきましては、0 歳児、1 歳児、2 歳児の国基準の階層で軽減するという話があったので、それに向けて管理する電算システムを改修する必要があるので、その経費を盛らせていただいて、県と連携して保育料の段階的無償化については取り組んでいきたいとこのように考えている。

それから住宅リフォーム総合支援事業。これも県の方の制度が変わって、いわゆる住宅リフォームをする場合、そして地元産材を使う場合に補助をする。非常に住民の皆さんにとっては人気の高い支援措置だが、これについても県が補助要件を改めたということもあり、それに追従する形で、市の方の予算も見直しをするもの。あとは記載の通りなので、ご理解いただきたいと思う。

②人事案件について

市長／明日上程する人事案件。これまでトータル 7 年 4 か月、教育委員会の村上教育長から教育長の職を担っていただいていたが、この 3 月 31 日をもって任期満了となる。次については、新しい教育長の任命をしたいということで、明日人事案件として議会に諮らせていただく。任期は 3 年ということで、令和 6 年 3 月 31 日までの任期。

総務部長／人事案件につきましては明日本会議に提案を追加する予定なので、くれぐれ

も明日の本会議終了までは報道なさないようにお願いをしたい。

市長／明日取材をしてもらう分にはいい。明日中に取材をしていただき、明後日あげてもらうのがベストではないかと思う。

■懇談・フリー質問

記者／経済対策とは関係ないが、昨日の県議会の副知事選任について否決されたが、市長としての受止めをお聞かせいただきたい。

市長／県の人事案なのでコメントをするべきものではない気がするが、いずれにしても県民の代表で組織しております県議会のご判断ということであるので、それは粛々と受け止める必要があるという思いで、今朝の新聞とか昨日のニュースは拝見させていただいた。

記者／市長が副知事にお会いした時の印象だとかどういった感じなのか、それと若松副知事は県政にとって必要かどうなのか教えていただきたい。

市長／過去に若松副知事が農林水産部長を歴任されていた時に親しくお話をさせていただいたし、色々な場面で接触することもあったので、大変優秀な県庁マンであり、副知事であったというように思っている。今回、県議会で否決という形になっているので、私としてはコメントを差し控えたい。いずれにしても、これまでもお付き合いもあり、地域のためにもご貢献をいただいた方なので、本当にお疲れさまでしたということで申し上げます。総務部長と一緒に仕事したので何かコメントがあれば。

総務部長／平成 4 年に県庁に派遣された時に一年間若松副知事とは同じ課で一緒に仕事をさせていただいた。大変明るくて、私がこちらに来てからも連絡をもらったりしていただいたので感慨深い。

丸山市長／お互いに忙しく、総務部長がかつて同僚だったということもあって、総務部長に色々連絡が来たりして、私がそれを取り次いでもらったり、ということをしてきた。農林水産部長をされていたので、農、林、水、特に水産はこの地域しかない。そういう面では親しく色々ご指導いただいたという思い出がある。

記者／副知事不在となるが、どなたか副知事、新しい人でも選んで欲しいという思いはあるか。

市長／副知事、副市長というのは、やはりいろんな意味で内部を取りまとめたり、対外的にも、今はコロナで外に出るケースはそんなにないが、首長というのはどうしても中央に出向いたりとか外に出る機会があるので、そういう面では取りまとめ役としては貴重な存在だと思う。不在というのは好ましくないなので、一日も早くどなたか就任してという思いで見ている。いずれにしても、県当局と県議会とで判断すべき中身なので、そこはその程度で留めさせていただきたいと思う。

記者／県議会 2 月定例会が今月中旬に終わることだが、東北公益大学の公立化の件について、2 月の定例会が終わったら話が進むことになると思うが、それについて酒

田市の方では何か今のところ聞いているか。

市長／今のところ私は聞いてない。

企画部長／まだきてない。

市長／まだ何も来てない。

記者／酒田市としてはこれからすぐ動き出したいと思ってると思うが、どのように臨まれていくか。

市長／県議会でもそれについては県も前に進めるというお話だったので、県の対応をこれも肅々と待ちたいと思っている。議会が終わればまた何かアクションが出てくるかということで、特にこちらの方から何か仕掛けようという思いは今のところない。